



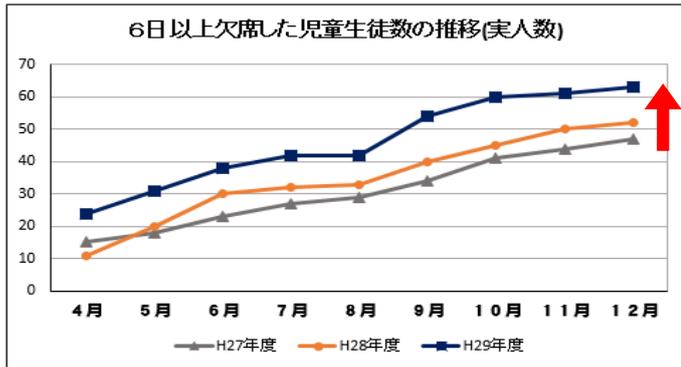
教育あがつま HOT NEWS

第54号
平成30年2月15日(木)
吾妻教育事務所 発行

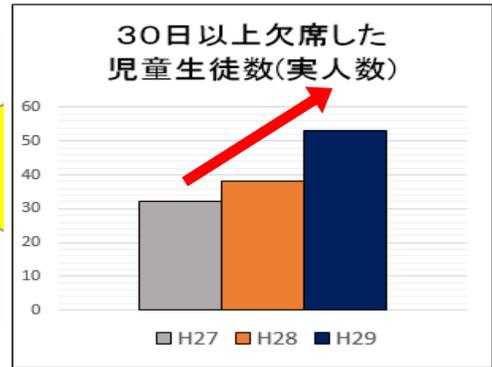
「楽しい!」と思える

魅力的な学校を みんなでつくりましょう!

○吾妻管内における不登校児童生徒に関する状況 (平成29年12月末現在)



3年連続
増加!



今年度(12月末現在)6日以上欠席した児童生徒数は、過去2年間に比べ増加しています。また30日以上の長期欠席している児童生徒数も増加している状況です。この現状を改善するためには、「自己有用感をはぐくむ、学校・学級づくり」が大切です。学校訪問でいただいた情報の中からヒントとなる取組を紹介させていただきます。

ポイント1

一人一人に居場所がある学級経営の充実

★★★★★

児童・生徒のよさを見とり、一人一人に居場所がある学級経営を進めましょう。

ポイントは、教育活動の中で積極的に児童生徒の「よさを認める」「自己決定させる」「共感的に理解する」ことです。

これまで以上に意識して取り組んでみましょう。

郡内では



担任が、一人一人のよさを認める声かけを継続的に行うことで、互いに認め合える学級経営を進めています。



不登校児童生徒に対し、登校した当日のスケジュールを決めさせる「学校生活プラン表」を活用して児童生徒の自己決定を大切にしています。



担任がSCと連携・情報共有し、担任だけでは聞き取れないことをSCが聞き取り共感的に理解することで、児童生徒の前向きな気持ちを引き出し、登校につなげています。

★★★★★

担任を支える組織的な支援体制の見直し・改善

★★★

ポイント2

担任を支えるために、これまでの組織的な取組や支援体制を見直し・改善しましょう。

ポイントは、「全職員で進める」「役割分担をする」「SSWからの助言を活用する」ことです。

現状の取組を見直すことで、組織的な支援体制を充実させましょう。

郡内では



担任が作成した毎月の生徒指導ファイルをもとに、全職員で児童生徒への対応や指導方針を決定しています。



不登校児童生徒の登校状況を一覧表にして、職員で対応を役割分担し、指導にあたっています。



SSWからの助言を活用して、校区内の区長や民生委員等との連携による組織的な支援体制づくりを充実させています。

健康教育の推進 組織的な評価を次年度に生かしましょう。

3学期は、次年度に向けて今年度の取組の評価・改善を行う時期です。食物アレルギーのある児童生徒の増加に伴い、喫緊の課題となっているアレルギー対応を例に挙げると、各校に組織されているアレルギー対策委員会で、ヒヤリハット事例の検証を行ったり、子どもの変化に応じた、個別の取組プランを評価したりして、必要に応じた見直しや修正を行うことが大切です。ここでは、平常時のアレルギー対応について、中之条小学校の取組を紹介します。

中之条小学校の 【校内アレルギー対策委員会】の紹介

中之条小学校校内アレルギー対策委員会次第
H29.3.3(金)

【メンバー】

校長、教頭
保健主事、養護教諭、栄養専門員、給食主任、担任、学校医、幼稚園(保育所)担当職員、教育委員会

【議題】

- 現在の対象児童の状況
 - 給食対応している児童
 - 保護者からの申し出がある児童
 - アレルギー疾患に関する状況
- 給食対応の状況
 - 現在の給食対応の状況
 - 今年度の反省と課題
- 新年度のアレルギー対応
 - 新入生
 - 在校生
- その他



「PDCA サイクル」を大切にしながら、実践しています！



Do 実行

◇平常時

学校給食、その他の学校生活における個別の対応や食物アレルギーについての指導、校内研修を実施します。

【中小の事例】

おかわりの扱いについて共通理解を図り給食対応を行うとともに、児童にも指導を行う。

校長先生をリーダーに、学校と教育委員会が連携し、学校医も交えたメンバーで組織しています。幼稚園(保育所)担当者が参加し、新入生の対応に向けた情報交換も充実させています。

アレルギー対策委員会

協議では、これまでの学校におけるアレルギー対応を見直し、次年度の対応に生かしています。



Check 点検・評価

◇平常時の対応

日常のアレルギー対応において課題となる点について点検・評価を行います。

【中小の事例】

アレルギー対応食がない日の献立のおかわりの扱いについて各クラスの対応が異なることが課題に挙げられた。

Action 改善

◇見直し・修正

個別取組プランなどの見直しを行い、必要に応じて修正を行います。

【中小の事例】

対応食がある日、ない日を問わず、誤食や誤配を防ぐためにはおかわりをせず、事前に必要な量を盛り付けるよう対応すること、児童にも丁寧に説明することを確認した。

Plan 計画

◇個別取組プランや、給食対応マニュアルなどの作成

改善したことは、記録に残し、共通理解を図ります。

【中小の事例】

対応マニュアルに位置づけ、職員会議で共通理解を図った。